学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物演習α	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程　ニューアチーブ生物 新刊　アクセスノート　生物基礎　新課程版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎回の授業をしっかりと聞き、演習問題や実験に意欲的に取り組んでください。また授業内容をしっかり復習し、次の授業に備えてください。繰り返し反復することで理解を深めることができるはずです。グループ学習やペアワークには積極的に参加すること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物についての知識、実験技術が習得できている。
【思考力、判断力、表現力等】
グループ学習で積極的に取り組み、現象や実験結果から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
新たな課題や目標設定を行うことができ、課題を解決することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象についての知識を身につけるとともに、日常生活や社会と関連付けて理解する。知識を科学的に探究するための観察や実験の基本的な技能を身につける。	観察や実験を通して、仮設の設定やデータの分析、解釈、推論などの探究方法の習得や報告、発表を行い科学的に探究する力を付ける。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対して科学的な視野を持ち探究していくことができる。自然環境の保全や生命を尊重できる感性を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物基礎分野	生体防御 植生の多様性と分布 植生と遷移 気候とバイオーム	a:自然免疫や獲得免疫について理解する。バイオームについて理解する。 b:免疫機構について説明できる。 c:植生やバイオームについての知識をまとめ、問題点を考察する。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 実験レポート グループワーク	実験レポート 毎授業の取り組み グループワーク
2	生物分野	生態系とその保全 生態系と物質循環 生態系のバランス 生命現象と物質 細胞と分子	a:生態系と物質循環について理解する。細胞の構造や働きについて理解する。 b:生物同士や環境問題とのつながりを考察する。細胞小器官の働きを説明できる。 c:生物を構成している物質や酵素反応、タンパク質についての実験を意欲的に取り組む。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 実験レポート グループワーク	実験レポート 毎授業の取り組み グループワーク
3		代謝	a:呼吸や発酵、光合成について、理解する。 b:呼吸や発酵、光合成について考察し、説明できる。 c: 呼吸や発酵、光合成について実験を意欲的に取り組み、実験結果から問題点などを推測できる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 実験レポート グループワーク	実験レポート 毎授業の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度